

# 投信フォーラム 2009 in 京都

## ～資産運用は時間を味方につけましょう～

一昨年から金融危機で不安定な景気が続いており、年金や医療など社会保障制度への不安も高まっています。将来に向け十分な蓄えを確保し、豊かに暮らしていくために、どのような資産運用をすべきかを考える「投信フォーラム2009 in 京都」を昨年12月19日に京都新聞文化ホールで開催しました。今回、タレントの清水圭氏、ファイナンシャルプランナー(FP)の深野康彦氏を講師に迎え、清水氏には自身の豊かなライフスタイル、深野氏には投資信託について仕組みやメリットをお話していただきました。その概要を紹介します。

主催／(社)投資信託協会、全国地方新聞社連合会、京都新聞社 後援／金融庁、金融広報中央委員会、京都財務事務所、大阪証券取引所、信託協会、全国銀行協会、東京証券取引所グループ、日本証券業協会、日本損害保険協会、不動産証券化協会

### FPによる投資信託入門セミナー 「資産運用は時間を味方につけましょう」 (ファイナンシャルプランナー) 深野 康彦氏

#### 収入は減り支出が増える時代

今、日本経済はデフレという形で急激に物の価格が下がっています。不景気と少子化による人口減で物の使用量、需要が減ることで、物価の下落は続くと考えられる方がいらっしゃるかもしれません。しかし、世界の人口は年間8千万人も増えて食料需要は高まる傾向にあり、中国やインドでは車の販売台数が飛躍的に伸びて原油やガソリンの需要が高まっています。こうした世界情勢のなかでは、食料やエネルギーを海外に依存する日本は国内の物価が突然跳ね上がり、家計の支出が増えることも予想されます。一方、収入は、

現役世代では不景気による給料の引き下げ、国民健康保険や厚生年金保険料など社会保険料の値上げにより収入増は期待できず、リタイア世代の老後資金である年金受給額も非常に厳しい状況です。高金利の昔であれば定期預金で蓄え、利子で資産を増やすこともできましたが、現在の定期預金金利では、100万円を200万円にするにはなんと600年もかかってしまいます。

かし1日は24時間しかありません。投資信託で運用を専門家に任せることによりコストがかかりますが、その分の時間を得ることができます。時間を買うためのコストと考えるとそれほど高いものではないでしょう。あるいは積立方式で1000円程度の小口投資ができるものや、株式と同じように取引できるETF指数連動型投資信託やREIT(上場不動産投資信託)など、ニーズに合わせた投資ができるのが投資信託の魅力です。

時間を味方につけて大切な資産をうまく運用されることで、豊かなライフスタイルを送っていただければと思います。

(※平均余命：各年齢の者が平均的に見て今後何年生きられるかという期待値を表したものです。)



深野康彦 ぶかのやすひこ ファイナンシャルプランナー  
1962年生まれ、埼玉県出身。クレジット会社勤務を経て89年FP会に入社、FP業務を研さん。96年に独立し、2006年には2社目となるファイナンシャルリサーチを起業した。著書に「図解 金融機関にすめられた商品の中身がわかる本」(講談社)など。ラジオNIKEI「深野康彦のマネーマガジン」パーソナリティー。

資産運用には必ずリスクが伴います。リスクとは今すぐそこにある危険ではなく、将来の収益の不確実性、お金が増えることもあれば減ることもあるということです。リスクを避けるのではなくうまく共存するものだと認識してください。そのため①投資対象を株式、債券、不動産など異なる資産に分ける。②一度に全額投資するのではなく投資時期を何回かに分ける。③投資期間を長くする。長期運用によって収益を上げるチャンスが増えます。こうした「分散投資」という方法があります。



当日は約200人が来場し、熱心に聴講しました

### 特別講演 「私の歩んできた道」 清水 圭氏(タレント)

お笑い芸人として  
ステップアップを目指し、東京へ

私は大学を卒業してサラリーマン生活をした後、吉本興業のオーディションに合格してこの世界に入りました。清水圭、和泉修という漫才コンビとしてデビューして、おかげさまで1年ほどで週に10数本のレギュラー番組をこなすようになりました。忙しくなったのはいいのですが、新しいネタを仕入れる時間がない。暇ができればネタづくりで集中していたせいか「付き合いが悪い」と芸人仲間から孤立した時期があったのです。落ち込んでいたときに島田紳助さんに「仲間といってもライバル。悪口をいわれるのはみんなが意識しているからや。頑張れ」とアドバイスをうけ、悩んでいた状態から助けられたわけですね。



清水圭 しみずけい タレント

1961年生まれ、京都府宇治市出身。同志社大学卒業後、2年の会社勤めを経験。84年に漫才コンビ「清水圭・和泉修」として吉本興業よりデビュー(2001年解散)。現在はマルチタレントとして情報番組やバラエティー番組などに出演中。昨年自身が絵と文を担当した絵本「サカボーの冒険」(エイ出版)を出版した。

試験で大活躍していました。ところが中学2年生のとき、身体検査で不整脈があることが診断され、学校からサッカーをやめるようにいわれたのです。「サッカーができないなら学校をやめる。死んでもいい」と泣きながら訴えたところ、母は「サッカーで息子が死んでも学校に責任を問うようなことはないし、部活を続けて

いけばいいの、明石家さんまさんに「悩みがある」とメールを送ったところ、「何で悩んでいるかわからなければいい」と返ってきた。これ

で逆に頭がスッキリしてくよくよ考え込まなくてすんだのです。お二人のおかげで今までやってこれたと感謝しています。

させてくれるよう学校側に掛け合ってくれたのです。後に精密検査で直接死に至るほどではないとわかったのですが、現在、私が二人の息子の親になってみて、母のような度胸が自分にあるかというとなかなかありません。ただサッカーをやめていたら今の私はありません。本当にありがたいことだと思っています。近頃の日本はモンスターペアレントとかいじめとか、子どもを育てるのが難しくなっているような気がします。子どもたちの幸せな成長を、親としてどう見守ってやればいいのか今の悩みです。

老後の暮らしを考えた人生設計を  
東京に住んでもう20年になりますが、12年後に60歳になるころには京都に帰ってきたいと密かに考えています。若いころは東京に憧れましたが、ある程度大人になって住むにはやはり京都です。自分の生まれ育ったなじみある土地に戻り、のんびりと過ごすのが今後の選択肢のひとつです。まだどうなるかはわかりませんが、しっかり人生設計をして、これから歩んでいく道の先に豊かな暮らしがあればいいなと思っています。


**社団法人 投資信託協会**

## 資産運用は、時間を味方につけましょう。

リスクを小さくするための方法、  
知っていますか?  
「資産の分散」「長期の保有」そして  
「時間の分散」です。

値動きのある投資信託は、  
時間を味方につけて、少しずつ分けて  
購入することでリスクを分散。  
資産運用、考えてみませんか。

詳しくは投資信託協会のホームページ、  
ガイドブックをご覧ください。

### 投資信託を知りたい方に

**無料** ガイドブックプレゼント  
(各1冊セット)

ご希望の方は、ハガキに郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。また協会ホームページからもご請求いただけます。(お届けは2週間前後となります。)

〒103-0026  
東京都中央区日本橋兜町2-1  
東京証券取引所ビル6階  
(社)投資信託協会K係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付および当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

携帯電話はこちら

